

みどりの杜俳句会

一人行き心許なき梅雨山路

佐山けさ子

山の家庭の夏草刈つてあり

高橋 きみ

仏花買ひききよう紫混じりあり

鈴木 啓子

ガラス越し家族と面会梅雨明る

吉田 愛子

住み慣れし山ふところや合歓の花

馬場 芳

裏庭の枇杷食べ頃や鳥つつく

高橋 ツ子

天空へ夏燕飛び山の朝

山崎 才子

雨に濡れ赤しそ青しそ葉の育つ

田村 好子

唐もろこし三本づつや束ね売る

飯野 トヨ

雨後の鉄線うす紫の濡れ

飯野はつ志

西瓜熟れ足どり軽き歩行リハ

神田 昌美

踊子草日陰に増えて踊りけり

関口 侑子

雨上り帰路の町空虹かかる

小林 和幸

疫退散祈願の花火仰ぎけり

金子 圭輔

梅雨寒や家族のマスク手作りす

野口利江子

静まれる山の闌より蛙鳴く

関口 真吾

粒揃ふ葡萄青実や袋掛け

土屋 厚子

青柿の落つる音してトタン屋根

岡部富美子

雨粒のビーズつらなりくもの糸

千野さき子

生垣の根元茗荷の花白し

初雁 功子

フェンス網抜け山百合のひらきけり

山田 美子

白石短歌会

コロナ罹患者毎日ふえて居るけれど

驚かなくなった自分が怖い

渡邊美枝子

蟬時雨と共に目醒むる山暮らし

夫居て子の居て孫二人住む

坂本 美江

姑久子皇寿迎えてみどりの杜に

コロナ禍打ち勝ち確と生活せり

白石 礼子

お食い初め曾孫舞里桜の祝膳

鳥取砂丘の小石役立つ

渡邊阿里子



人権シリーズ

『黒人差別と新型コロナウイルス』

アメリカで警察官による取締や弾圧等で黒人の方が亡くなる事件が多発しています。この行為に対する反対運動が世界各国で始まっています。なぜアメリカでは黒人差別がなくならないのでしょうか。オリンピックや世界陸上を見てもアメリカの選手の大半は黒人選手でアメリカに多くのメダルをもたらしています。かつてアメリカは黒人の労働力で繁栄した産業もあつたはずですが。現在も兵士として多くの方が国のために働いています。取り締まる側の人も黒人差別はいけないこととわかっている人も多くいるはずですが。

私は過去にナイジェリアの黒人の方と3年程仕事をしました。彼らは勤勉で真面目で仕事内容には文句を言わず仕事一筋でした。今後、日本の一次産業には彼らの働く力が必要と感じます。

新型コロナウイルスについて、緊急事態宣言前後の月に東京ナンバーの車が村内を走っていると、ここに来ないで家で静かにしてほしいと思っていました。愛村心から当然と感じていましたが、今思えば東京ナンバーの車に対して偏見と差別的な目で見えていました。東京から来た人は、この村でうどん、そば、土産などを消費したかもしれません。また、法事などの用事があつたのかもかもしれません。そう考えると、私の中にはただ反省のみが残りました。

私の実体験として、コロナに感染した家族に知人がいて、知人も濃厚接触となりました。遅かれ早かれわかることでしたが、差別がでないように願っています。

東秩父村老人クラブ連合会長 山崎 初一